

# あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センターニュース

## 2026年5月号

### 今月の内容 ● お知らせ

- ・「2026年度 愛知のふるさと食品コンテスト」への出品商品を募集しています
- ・「産業用ロボット活用相談窓口」を開設しました
- ・「ロボット導入セミナー」の参加者を募集しています

### ● トピックス

- ・「AXIA EXPO 2026」内「新あいち創造研究開発展 2026」に出展します

### ● 技術解説「微生物から取得した塩基配列の相同性検索」

## お 知 ら せ

### ● 「2026年度 愛知のふるさと食品コンテスト」への出品商品を募集しています

愛知県では、県内で生産された農林水産物を主な原材料に用いて、3年以内（2023年5月7日以降）に製品化された加工食品（「ふるさと食品」）を対象とし、技術や味、包装デザインなどを競う「2026年度愛知のふるさと食品コンテスト」を以下のとおり開催します。

主食、惣菜、菓子、飲料など、食品の種類は問いません。多くの企業や団体からの出品をお待ちしています。

このコンテストは、県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的として、1988年から開催しています。

コンテストで最優秀賞に選出された「ふるさと食品」は、一般財団法人食品産業センターが主催する全国規模のコンテスト「優良ふるさと食品中央コンクール」に愛知県代表として推薦します。

また、ふるさと食品コンテストへ出品された商品は、応募者の希望により県の Web ページ「いいともあいち情報広場」<https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomoaichi/>やリーフレット等に掲載し、広く一般に紹介します。

#### 【応募方法等】

必要書類を提出期間内に県農業水産局農政部食育消費流通課宛てに提出

提出期間：2026年5月7日（木）から6月19日（金）必着

出品要件、応募方法、審査基準などの詳細や応募書類の様式などは下記 Web ページをご覧ください。

「『2026年度 愛知のふるさと食品コンテスト』への出品商品を募集します」

（<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r8hurusato-boshu.html>）

#### 【提出先及び問合せ先】

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課 需要拡大・ブランド力強化グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2

電話 052-954-6434 FAX 052-954-6940

E-mail : [shokuiku@pref.aichi.lg.jp](mailto:shokuiku@pref.aichi.lg.jp)

Web ページ <https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/iitomoaichi/>



### ●「産業用ロボット活用相談窓口」を開設しました

愛知県では、産業用ロボット導入の促進を図るため、昨年度に引き続き「産業用ロボット活用相談窓口」を開設しました。産業用ロボットを用いた自動化に精通したアドバイザーが中小企業や支援機関から受けた相談に対して、ロボットの導入に関するアドバイス、ロボット SIer とのマッチング支援等を実施します。

#### 1 窓口受付時間

平日 9:00～17:00（年末年始と祝日を除く）

#### 2 相談料

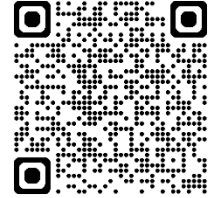
無料

#### 3 相談方法

下記 Web ページをご参照ください。

「「産業用ロボット活用相談窓口」を開設します」

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2026sanrobosoudan.html>)



### ●「「ロボット導入セミナー」の参加者を募集しています ～ ロボット活用スタートガイド -事例で学ぶ導入のコツ- ～」

愛知県では、産業用ロボット導入の促進を図るため、「ロボット導入セミナー」を実施します。専門家による講演や、実際にロボットを活用している企業の事例や体験談、ロボット SIer 企業によるサポート事例など、ロボット導入を検討する際の第一歩として役立つ内容となっています。興味をお持ちの方は是非御参加ください。

#### 1 日時

2026年6月12日（金） 10:30～12:30

#### 2 場所

Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）【「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2026」会場内】  
（愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号）

#### 3 対象

産業用ロボットの導入に興味のある方であればどなたでも

#### 4 定員

300名（先着順）

#### 5 費用

無料

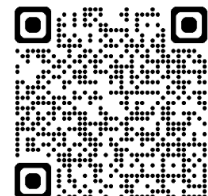
#### 6 申込期限

定員に達するまで

詳細や申し込み方法などは下記 Web ページをご覧ください。

「「ロボット導入セミナー」の参加者を募集します！ ～ ロボット活用スタートガイド -事例で学ぶ導入のコツ- ～」

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2026sanroboseminar1.html>)



## トピックス

### ●「AXIA EXPO 2026」内「新あいち創造研究開発展 2026」に出展します

愛知県では、「新あいち創造研究開発補助金」を2012年度に創設し、これまで1,031件の支援を行ってきました。この補助金を活用して取り組まれた研究開発や実証実験の成果を一堂に集め、事業化や販路・取引拡大につなげることを目的として、「新あいち創造研究開発展 2026」を「AXIA EXPO 2026」内において実施します。

#### 1 日時

2026年6月3日（水）から6月5日（金） 午前10時から午後5時まで

#### 2 会場

愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」（常滑市セントレア5丁目10-1）  
展示ホールE内の約2,400平方メートル



当センターからは、新あいち創造研究開発補助金事業において株式会社三井酢店(阿久比町)と共同開発した「古代米のぼん酢」を出展します。

「古代米のぼん酢」は、愛知県農業総合試験場山間農業研究所(豊田市)が育種開発した紫黒米「峰のむらさき」、南知多町の魚醤「しこの露」、碧南市の白醤油など愛知県産の原材料及び調味料を活用しています。紫黒米の色素（アントシアニン）を有効利用したルビー色のぼん酢を紹介します。



「峰のむらさき」玄米



ルビー色の「古代米のぼん酢」

#### 編集・発行

あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター

令和8年5月20日発行

住所 〒451-0083 名古屋市西区新福寺町2-1-1

TEL(直通) 総務課 052-325-8091 発酵バイオ技術室 052-325-8092

分析加工技術室 052-325-8093 保蔵包装技術室 052-325-8094

FAX 052-532-5791

URL : <https://www.aichi-inst.jp/shokuhin/> E-mail: [shokuhin@aichi-inst.jp](mailto:shokuhin@aichi-inst.jp)

※(at)は@に置き換えてください。

フルカラーのweb版センターニュースはこちらから→



## 微生物から取得した塩基配列の同一性検索

### 1. はじめに

分離取得した有用微生物は安全性担保のために種名を明確にすることが求められます。例えば、酵母の場合は *Saccharomyces cerevisiae*、乳酸菌の場合は *Tetragenococcus halophilus* であれば、食品を分離源とし、食経験のあるものと種が一致していることにより、製造者にも消費者にも安心感をもたらします。また、微生物による変敗が生じた際にも種名が分かると、既報の調査により再発防止対策を取りやすい等役立ちます。過去のニュース [1](#) のとおり、DNA 解析を用いた微生物の同定試験は、①微生物試料からの DNA 抽出、②rDNA による PCR 増幅、③DNA シーケンスによる塩基配列データの取得、④データベースでの同一性検索による種の特定制成りします。④について、前回報告から年数が経ちデータベースの状況が異なっていますので、本稿では、取得した塩基配列の同一性検索およびデータベースの現状について解説します。

### 2. 取得した塩基配列の同一性検索方法

同一性検索プログラム BLAST(Basic Local Alignment Search Tool)には複数種類の検索方法がありますが、取得した塩基配列を DNA データベースと比較する場合には `blastn` を選択します。取得した塩基配列(ATGC の並び)をクエリ配列(Query Sequence)の欄に入力し `blastn` で実行することで、データベースに登録された塩基配列との同一性(Identities)が閲覧できます。同一性が高いものが得られれば、入力した塩基配列を有する試料がその学名の微生物であると推定できます。図 1 は、得られた塩基配列を検索した結果の一部ですが、相動性が 508/509(99%)とあり、509 塩基の入力した塩基配列の内 508 塩基がデータベースに登録されている *T.halophilus* の塩基配列と一致したことを示しています。配列の上側がクエリ配列として入力

**Tetragenococcus halophilus NBRC 12172 DNA, complete genome**  
Sequence ID: [AP012046.1](#) Length: 2562720 Number of Matches: 5

Range 1: 2213586 to 2214094 [GenBank](#) [Graphics](#) [▼ Next Match](#)

Score	Expect	Identities	Gaps	Strand
914 bits(1013)	0.0	508/509(99%)	0/509(0%)	Plus/Minus

```

Query 1      GTTTGATCCTGGCTCAGGACGAACGCTGGCGGCGTGCCTAATACATGCAAGTCGAACGCT 60
Sbjct 2214094 GTTTGATCCTGGCTCAGGACGAACGCTGGCGGCGTGCCTAATACATGCAAGTCGAACGCT 2214035
  
```

図 1 同一性検索結果 (一部)

した配列、配列の下側がデータベースに登録されている配列で、上下の配列間で一致しているところにバーが表示されます。

### 3. 塩基配列データベースの現状

NCBI(National Center for Biotechnology Information、米国立バイオテクノロジー情報センター)は塩基配列検索に最もよく使用されているデータベースです。登録データ数が世界最大であるため、同一性の高いものが得られやすいですが、種名を明らかにした登録配列との一致が 90%未満であった事例があり、他のデータベースの使用を検討しました。

日本の生命情報・DDBJ センター (BI-DDBJ)は、2021 年から BLAST のサービスは一旦休止となっていますが、国際塩基配列データベース連携 (INSDC) の一員であるため、DDBJ に登録されたデータは、公開時に NCBI と EBI(European Bioinformatics Institute、欧州バイオインフォマティクス研究所)に送られています。そのため、NCBI の使用により共に DDBJ のデータベース照合もできていると考えられます。

NBRC(NITE Biological Resource Center、製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター)が 2019 年から運営している生物資源データプラットフォーム DBRP(Data and Biological Resource Platform)にも BLAST がありましたので使用したところ、種名を明らかにした登録配列と 98%を超える同一性で一致し、種の推定に有用であることが分かりました。

### 4. おわりに

食品工業技術センターでは、食品に関与する微生物の情報収集や分析解析技術の普及に日々努めております。お気軽にご相談ください。

### 参考文献

1) 小野奈津子: DNA解析を用いた微生物の同定試験について (あいち産業科学技術総合センターニュース 2013年11月号)

(あいち産業科学技術総合センターニュース 2026年3月号より転載)

発酵バイオ技術室 小野奈津子 (052-325-8092)

研究テーマ: 溜醤油醸造用乳酸菌スターターセットの拡充

担当分野: 味噌、醤油、溜、食酢、遺伝子解析